



Title	村落と都市の研究
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77300
Type	manuscript
Note	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
File Information	K021_017.pdf



[Instructions for use](#)

都市研究 7

45

Superior Notebooks
Made from finest paper

都市研究 7

VI

東京大学
文学部

NA2

FINE NOTE

一、後居強
一、夏夜新在
一、張屏史

※都市を生活協同体と云ふのは、
近代的存在へおし知れぬ。政定ん人ハ人そ
同質化して取扱ふ事、競争対立

互に搾取、落套の修四後場、
云へば、それにも物とす都市ハ排他

也。其生活が都市の外郭にといふ事ハ
也。平安しある。生活協同体と云ふのは

所以である。けれど、対立的統一を表現
する。言ひ過ぎである。

として生活協同体と云ふのは
けれども、生活の関連的統一と排他性

す。よりのとして、余りにも比喩を用ゐる。

※都市を生活協同体と云ふのは、
近代的存在へおし知れぬ。政定ん人ハ人そ
同質化して取扱ふ事、競争対立

互に搾取、落套の修四後場、
云へば、それにも物とす都市ハ排他

也。其生活が都市の外郭にといふ事ハ
也。平安しある。生活協同体と云ふのは

所以である。けれど、対立的統一を表現
する。言ひ過ぎである。

として生活協同体と云ふのは
けれども、生活の関連的統一と排他性

す。よりのとして、余りにも比喩を用ゐる。

※都市を生活協同体と云ふのは、
近代的存在へおし知れぬ。政定ん人ハ人そ
同質化して取扱ふ事、競争対立

互に搾取、落套の修四後場、
云へば、それにも物とす都市ハ排他

也。其生活が都市の外郭にといふ事ハ
也。平安しある。生活協同体と云ふのは

都市には
定むる。

の職能域は其生活の本據によつて決まる

可なりである。亦先づの本據としては職能

位を以てとすべきである。職能は其位を

支配する力は大であるが、如何に大である

否の本據ははな一。生活の本據を位

であるならば都の職能を決定するものは

職能の位を以てして位を以てして

勿論都市は密に集したる處に其内に

職能と位を以てして人としてあるが、

其一部の位を以てして其處の位人は其處

外の職能に勤めし居りし又其處の

人とは其處外の地より其處の職能に過

都しと云ふ。それ等は全体から見たれば少数の
例外であつて、大部分は専ら職役の位所から専
務の職に勤めしむ。東京は都の旧
市役の位所に勤むもの工場に通都しと云ふ
人は東京の市民であつて、鎌倉に住ん
ど東京の居住に通都する人は鎌倉の
市民であるに認めらるべきである。(東京の
鎌倉と云ふの都市を都市と云ふは、
は独立した密集集落である。何
れも基礎としてある。一つの独立した
集落が二つの集合に分れて居る。これは
既に述べた都市にはあつた。都市

打夜記

これは人の場合を以て言ふべきであらう。又、解放的

なものである。第一地域的な結束のよきもの

あり、存しない。生活の国連的統一と統一

住居又、密集集し、その中心を以て、それ

都市の外形、住居の中心、その中心を以て、

学がたえ時代は、いかに、その中心を以て、

この中心を以て、その中心を以て、その中心を以て、

この中心を以て、その中心を以て、その中心を以て、

居るより、その中心を以て、その中心を以て、

食いの中心を以て、その中心を以て、その中心を以て、

俄かしの中心を以て、その中心を以て、その中心を以て、

と、その中心を以て、その中心を以て、その中心を以て、

(註)

近代化の過程に都市は没落を形勢として

デパートや商店、銀行、市立官立、学校

○市立住宅
○市立商店

職場前後

○市立住宅
○市立商店

○市立住宅
○市立商店
○市立住宅
○市立商店

工部

二に過かんの

都市は職場又の定住地となり、住所

は附近の山野に零散してしまつて

つた。競争中に疎閑の去る人は

疎閑した女をまわす人は都市を死守

して片を、同時に都市の外部に居

住し居ない大群の人は都市の

デパートにかけのたふすにたふすなり

又住宅公宅にしはりつけられ

てう都市は住所の定住地となつた

職場の定住地となつたのである

近代化の初期は、職場の附近に住宅を作

都市は職場又の定住地となつたのである

市は生活協同体となつてありな

(註)

職場前である

一、氏族の血縁を以て村落を作る

二、村落の血縁を近代化せしめ地区集

團の上の血縁を近代化せしめ

三、前近代の地区集を整理する

よりよつて整理する。

四、近代都市の地区集を近代化せし

め職域集を以てこれに代り

都市の近代化の中心となる

のである。

東洋の村落発展史

人か居住を以て土地の定着を初め

際には血縁を以て村落を形成せしめ

てきた。我々の氏族の血縁を以て

この同族的血縁が村落生活をつ

つとめとし、地区集を以て整理

するの目的は、近代化を以て

村落を以ての整理は血縁を近代化せし

め地区集の整理を以て整理する

のである。

都市は愈々大なる東洋の中心

となる。

その形は備のよには打茂以上に組織
の整然とゆるぎなく。都市は地区
組織を打落しにのこし、愈々これを整
備した。さうするよ、都市は
高度の命令と、秩序を完成を告
げられた。

細い産物革命と、都市の大
な職場を先し、職場と住居を分
断せしめ、都市は職場中心
の都市をたうた。